

## 日本・ラオス友好議員連盟 総会 次第

日 時 : 令和 4 年 1 月 19 日 (水) 17:00 ~

会 場 : 衆議院第 2 議員会館 地下 1 階 第 2 会議室

1) 挨拶 (土屋 品子 幹事長)

2) 議 事

1. 役員について

2. 令和 2・3 年 活動・会計報告

3. 令和 4 年活動計画

3) 外務省より「最新ラオス事情について」

加納 雄大 外務省南部アジア部長

以上

## 日本・ラオス友好議員連盟 活動報告

2020 年（令和 2 年）

|           |                                               |
|-----------|-----------------------------------------------|
| 4 月       | 日本ラオス外交関係樹立 65 周年及び<br>戦略パートナーシップ関係構築 5 周年 祝辞 |
| 5 月       | シーサワート元首相ご逝去にあたり弔辞                            |
| 11 月      | センドゥアン教育スポーツ大臣 旭日重光章 祝辞                       |
| 12 月 24 日 | ヴィロード・スンダーラー駐日大使 議連送別会                        |

2021 年（令和 3 年）

|          |                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------|
| 4 月 15 日 | フォンサムット アンラワン駐日大使との役員懇談会                              |
| 6 月      | 第 9 期ラオス日本友好議員連盟発足にあたり祝辞                              |
| 7 月 28 日 | ラオスオリンピック委員会<br>センドゥアン委員長との役員懇談会                      |
| 11 月     | ケントン・ヌアンタシン元駐日大使 旭日双光賞 祝辞<br>(元ラオス日本友好議員連盟会長 元国民議会議員) |

以 上

# 日本・ラオス友好議員連盟 会計報告

2020 年（令和 2 年）

|            |                               |                  |   |
|------------|-------------------------------|------------------|---|
| 前年繰越       |                               | <u>¥699,717-</u> | A |
| 収入         | 会費                            | 164,000          |   |
|            | 12月24日 ヴィドロー・スンダーラー大使送別会出席者会費 | 20,000           |   |
|            | 利息                            | 6                |   |
|            | 計                             | <u>¥184,006-</u> | B |
| 支出         | 3月17日 事務費（ラオス語役員名刺作成代）        | 12,000           |   |
|            | 12月24日 パンカム国家副主席 叙勲祝賀会 費用     | 46,222           |   |
|            | 計                             | <u>¥58,222-</u>  | C |
| 収支 (A+B-C) |                               | ¥825,501-        |   |
| 次年繰越       |                               | <u>¥825,501-</u> |   |

2021 年（令和 3 年）

|            |                                                |                  |   |
|------------|------------------------------------------------|------------------|---|
| 前年繰越       |                                                | <u>¥825,501-</u> | A |
| 収入         | 会費                                             | 127,000          |   |
|            | 利息                                             | 8                |   |
|            | 計                                              | <u>¥127,008-</u> | B |
| 支出         | 7月29日 ラオスオリンピック委員会（前教育スポーツ大臣）<br>センドゥアン委員長 記念品 | 7,810            |   |
|            | 計                                              | <u>¥7,810-</u>   | C |
| 収支 (A+B-C) |                                                | ¥944,699-        |   |
| 次年繰越       |                                                | <u>¥944,699</u>  |   |

上記のとおり、ご報告申し上げます。

令和 4 年 1 月 19 日

日本ラオス友好議員連盟 事務局 佐々木太郎



# ラオス人民民主共和国

2022年1月  
外務省南部アジア部  
南東アジア第一課

## ●地域の連結性と平和の鍵を握る国

メコン地域の全ての国(中国・CMVT)と国境を有す。東西・南北経済回廊。

## ●豊かな自然と資源。投資先としての魅力

鉱物(銅)、土地・水(水力発電、農林)。政治的安定、安価な労働力。

## ●地域の安定と勢力バランスの鍵を握る国

越・中と同じ社会主義。タイ、越、中の資源・土地・労働供給地。

## ●伝統的な親日国

半世紀以上の外交関係。我が国の対ラオスODAはトップクラス。

\*人口…約710万人(2019年、ラオス政府)

\*民族…ラオ族他、計50の少数民族

・ラオ族が全人口の半数。越僑が多数。華僑も近年増加。

\*宗教…上座部仏教(約8割)

・その他、精霊信仰等

\*面積…約24万km<sup>2</sup>

・本州とほぼ同じ面積。

\*政治体制…ラオス人民革命党の一党支配体制

・13名の党政治局員が権力の中核。

\*経済体制…門戸開放、市場経済メカニズム導入

・86年に改革開放路線を採択(同年、越の「刷新」)。

\*GDP…約189億ドル/一人あたり:2,654ドル(2019年、ラオス政府)

\*経済成長率…4.7%(2019年、ラオス政府)

\*産業

- ・労働人口の約7割が農業従事。木材、コーヒー、トウモロコシ、ゴム植林。
- ・主要鉱物は銅。ボーキサイトの探鉱も進む。
- ・メコン地域の「バッテリー」。タイ、ベトナム等に売電。
- ・欧米旅行者に人気の世界遺産都市(ルアンパバーン)。

\*外交…社会主義国との関係維持、善隣・全方位外交、ASEAN。

\*軍事…予算2,400万ドル/年、陸上:2万5,600人、航空:3,500人  
(ミリタリーバランス2017より)

・ASEAN協力を重視。越とは長きに亘る「特別な関係」

\*在留邦人数…789名(2021年10月時点、海外在留邦人数調査統計)

\*進出日系企業数…165社(2021年9月時点、在ラオス日本大使館調べ)





## 内政

# ラオス政治・経済情勢

## 安定した政権運営

- 2021年1月の党大会でトンレン首相が党書記長に就任(ブンニャン党書記長等、主要メンバー(党中央委員)の一部が退任)。
- 2021年3月の国民議会初回会合においてトンレン新国家主席(兼党書記長)、パンカム新首相及び閣僚が選出・承認され、新政権が発足。
- 1986年からの改革開放路線を維持。一人当たりGDPが2,654米ドルに。
- 2025年までのLDC脱却、2030年までの高中所得国入りが目標(2018年、LDC脱却要件を達成)。

## 課題

- 債務問題を含む財政状況の改善。
- 都市部と農村部との格差は正。
- 経済成長を牽引する産業の多様化(現在は鉱業、水力発電が中心)
- コロナ禍で増加した失業者対策。
- 2021年1月の党大会では、貧困削減、汚職問題の解決、人材育成、社会の公平性の確保、改革の断行などが今後の重点課題として挙げられた。

## 経済状況

- 継続して高い成長率を達成。物価も比較的安定。

|       | 2014  | 2015  | 2016  | 2017  | 2018 | 2019    | 2020    |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|---------|---------|
| 成長率   | 7.61% | 7.27% | 7.02% | 6.89% | 6.5% | 4.7%    | (3.3%)  |
| インフレ率 | 4.13% | 1.28% | 1.60% | 0.83% | 2.1% | (3.32%) | (5.07%) |

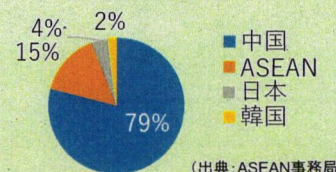
(出典:ラオス統計局、ラオス中央銀行、国民議会報道)

- ・主に、鉱物(銅)や、水力ダム発電による電力輸出、観光業、衣料品の輸出、発電所などの大型建設プロジェクトが、経済成長を牽引。

## 投資

- 主な分野は、鉱業、水力発電、農業。
- 貿易同様、タイ、中国、ベトナムが大きな存在。
- 2013年、WTOに正式加盟。
- ＜主な国別投資分野＞
- 中:北部中心。鉱業、農林(ゴム)、大規模案件多。
- 越:南部中心。鉱業、農林(ゴム)、不動産、金融等。
- タイ:電力、農業(サトウキビ等)
- 韓国:ラオス国内販売向け投資(車・バイク販売等)

2018年 投資額 国別割合  
132億ドル

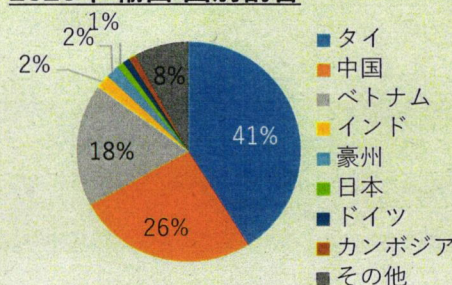


## 貿易

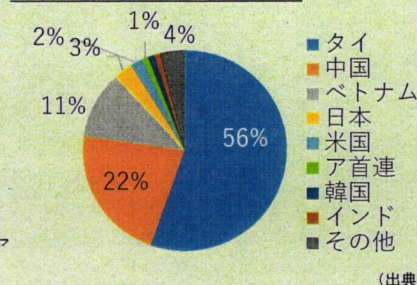
- 輸出振興の重点分野は、電力に加え、より付加価値を高めた加工製品(鉱物、伝統工芸品、縫製品、地域産品等)。
- タイ、中国、ベトナムが大きな存在。中国への輸出増が顕著。

- 輸出:56.8億ドル(電力、金、金鉱石)(2020年、ラオス商工業省)
- 輸入:50.7億ドル(機械類、ディーゼル、車両)(同上)

2020年 輸出 国別割合



2020年 輸入 国別割合



## 外交

### 各国とのバランスを配慮した善隣・全方位外交の推進。

- 中国のプレゼンスが様々な分野で拡大
  - ・2009年、両国関係を「**包括的・戦略的パートナーシップ**」に格上。
  - ・「目立つ」援助の計画・実施。(例:党本部、国際会議場、人工衛星打ち上げ、中国ラオス高速鉄道(事業規模約60億ドル)、南北を結ぶ高速道路建設等)
  - ・2017年11月の習近平国家主席のラオス訪問時には、17件の経済・経協文書に署名。さらに今後3年間で40億元の無償援助を表明。
  - ・2018年4月、政党間文書「**ラオス・中国運命共同体構築マスタープラン**」に署名。
  - ・2020年、新型コロナ禍で、専門家派遣や医療品・ワクチン供与など積極的な支援を展開。
  - ・2021年、ラオス中国外交関係樹立60周年/ラオス中国友好年。
- 「特別な関係」にあるベトナム
  - ・1945～75年、対仏・対米の独立闘争を共に戦った兄弟国。
  - ・1977年の友好協力条約締結以来、「**特別な友好、団結及び全面的な協力関係**」を維持。
  - ・政治、経済、治安維持を含むあらゆる分野で緊密に協力。
    - コロナ禍においても要人往来は継続。新指導部発足後の新国家主席、新首相の最初の外遊先は越であることが慣例。
- 近年、(旧)社会主義兄弟国のロシアとの軍事協力を再開、緊密化



# 日ラオス関係

## 「戦略的パートナーシップ」の関係

2015年3月5日に、日ラオス外交関係樹立60周年を迎え、翌6日の日ラオス首脳会談において、日ラオス関係を「包括的パートナーシップ」から「戦略的パートナーシップ」へと格上げ。2021年4月、今後の協力指針となる「日・ラオス行動計画」を発表。

### 経済関係

#### ●投資

- ・日系企業数は継続的に増加(2021年9月現在で165社)。  
代表的企業: ニコン(製造)、関西電力(水力発電)、ツムラ(生薬原料栽培)
- ・2009年末、ビエンチャン日本人商工会議所が発足。
- ・2014年、JETRO事務所開設
- ・日本の投資額(2008～2016年)は4.4億ドル(認可ベース)、国別9位。
- ・日本からの主な投資分野は、コンサル、縫製・部品製造、発電等。
- ・2007年～日ラオス官民合同対話実施。2008年、投資協定締結。

#### ●貿易 (2019年、財務省貿易統計)

- ・日本の輸出: 約104億円(金属製品、繊維製品、乗用車、一般機械)
- ・日本の輸入: 約175億円(衣類、食料品、原料品、化学製品)

#### ●2016年5月、日ラオス航空協定発効

### 国際場裡

- 安保理改革について、常任理事国入りを含め日本の立場を一貫して支持。
- 各種選挙や決議案に対する我が国の支持要請に協力的。

#### 要人往来(日本→ラオス)

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 2010年3月  | 秋篠宮殿下及び眞子内親王殿下ラオス御訪問     |
| 2012年6月  | 皇太子殿下ラオス御訪問              |
| 2013年11月 | 安倍総理ラオス公式訪問              |
| 2016年5月  | 岸田外務大臣ラオス訪問              |
| 2016年7月  | 岸田外務大臣ラオス訪問(ASEAN関連外相会議) |
| 2016年9月  | 安倍総理ラオス公式訪問(ASEAN関連首脳会議) |
| 2018年4月  | 河野外務大臣ラオス訪問              |
| 2020年8月  | 茂木外務大臣ラオス訪問              |

#### 最近の首脳会談

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 2016年5月 | トンルン首相訪日(G7アウトリーチ会合、伊勢志摩) |
| 2016年9月 | ASEAN関連首脳会議(於: ビエンチャン)    |
| 2017年6月 | トンルン首相訪日(日経アジアの未来)        |

### 経済協力

単位: 億円

- 我が国は対ラオスODAトップドナー(OECD/DAC基準)
- ラオスは初の青年海外協力隊派遣国(1965年)

| 年度     | 円借款    | 無償       | 技術協力   |
|--------|--------|----------|--------|
| 2013年度 | 150.62 | 62.11    | 30.55  |
| 2014年度 | —      | 35.44    | 29.76  |
| 2015年度 | 102.71 | 44.85    | 35.14  |
| 2016年度 | —      | 33.1     | 28.23  |
| 2017年度 | —      | 50.21    | 22.54  |
| 2018年度 | —      | 44.68    | 23.3   |
| 累計     | 484.36 | 1,579.94 | 753.42 |

(重点分野)

- 「経済・社会インフラ整備」
- 「農業の発展と森林の保全」
- 「教育環境の整備と人材育成」
- 「保健医療サービスの改善」



一般に流通する1万キープ札の図柄に我が国ODAによるバクセー橋が採用。

#### 要人往来(ラオス→日本)

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 2017年6月  | トンルン首相(日経アジアの未来)              |
| 2018年3月  | サルムサイ外相(OECD東南アジア地域プログラム閣僚会合) |
| 2018年6月  | トンルン首相(日経アジアの未来)              |
| 2018年10月 | トンルン首相(日メコン首脳会議)              |
| 2019年5月  | トンルン首相(日経アジアの未来)              |
| 2019年10月 | パンカム国家副主席(即位の礼)               |
| 2019年11月 | パンカム国家副主席(叙勲)                 |

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 2018年6月  | トンルン首相訪日(日経アジアの未来)    |
| 2018年10月 | トンルン首相訪日(日メコン首脳会議)    |
| 2019年5月  | トンルン首相訪日(日経アジアの未来)    |
| 2021年4月  | 菅総理とパンカム首相との間で電話会談を実施 |





## ラオス新指導部の顔ぶれ

令和3年4月  
南東アジア第一課

### <ポイント>

3月22日（月）～26日（金）の日程で第9期国民議会初回会合を開催。

同22日（月）、ラオスの新指導部が以下のとおり選任された。

#### ➤ 新政府指導部

国家主席：トンルン首相兼党書記長（序列第1位）

首相：パンカム国家副主席（序列第2位）

外務大臣：サルムサイ外務大臣（再任）（序列第13位）

#### ➤ 注目点

- ・ 軍歴のない国家主席と首相による政権はラオス史上初。
- ・ 新国家主席、新首相ともに改革志向を有し、汚職問題に断固たる対応。財務状況の改善及び経済の回復を喫緊の課題として優先的に取り組む党・政府全体の方針の表れ。
- ・ 親中派幹部が引退する一方、新国家主席、新首相、外相ともに日本と強い繋がりを有し、元日本留学生が初めて入閣（保健相及び教育相）。今後5年間は日ラオス関係拡大の好機。

### 新政府指導部の顔ぶれ：（ ）は党内序列



トンルン国家主席兼党書記長（第1位）  
（前職は首相）



パンカム新首相（第2位）  
（前職は国家副主席）



サルムサイ外務大臣（第13位）  
（再任）





# 日本・ラオス戦略的パートナーシップの前進に向けた行動計画



(日・ラオス外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ5周年)

令和3年4月  
外務省南東アジア第一課

## 意義

- ✓ 2015年3月の「戦略的パートナーシップの構築に関する日本・ラオス共同声明」は、「政治・安全保障」、「経済協力」、「貿易・投資」、「人的・文化交流」、「地域及び国際問題における協力」の協力分野を掲げ、その附属文書において各分野の具体的な協力方針を規定。
- ✓ 2020年の日・ラオス外交関係樹立65周年及び戦略的パートナーシップ5周年の機会に、過去5年間の上記共同声明5協力分野における進捗及び成果を振り返り、今後の協力方針を確認していくことで合意。
- ✓ これを踏まえ、「戦略的パートナーシップの前進に向けた行動計画」を発出し、同計画に基づき両国間で具体的な協力を推進していく。

## 行動計画の主な内容

### 政治・安全保障

#### 【成果】

- ・5年間で7回の首脳会談を実施
- ・党・議会間の交流の強化
- ・安保対話、防衛協力覚書の署名

#### 【今後の協力方針】

- ・両国間の対話を更に促進
- ・防衛協力の覚書の具体化、防衛関係者による相互訪問の促進

### 人的・文化交流

#### 【成果】

- ・JENESYSプログラムで1,400人が訪日
- ・東京オリ・パラ交流
- ・基金アジアセンター連絡事務所開設

#### 【今後の協力方針】

- ・青少年交流の更なる促進
- ・ラオスにおける日本語教育の更なる発展
- ・地方交流の更なる促進及び直行便開設

### 持続的な発展のための経済協力

#### 【成果】

- ・「日ラオス開発協力共同計画」の下、質の高いインフラ支援による連結性強化
- ・農業・教育・保健・不発弾処理分野等での協力
- ・人材育成支援

#### 【今後の協力方針】

- ・第9次国家社会経済開発計画実施への協力
- ・自然災害、公衆衛生上の緊急事態の防止・対策にかかる協力強化
- ・地域連結性向上及び質の高いインフラ開発の促進
- ・人材育成支援の継続

### 貿易・投資

#### 【成果】

- ・投資セミナーによる投資促進、官民合同対話によるラオスの投資環境の改善
- ・日系企業進出数は2014年のJETRO事務所開設以降も着実に増加

#### 【今後の協力方針】

- ・日系企業のラオス進出を更に促進
- ・起業家及び経営者の能力開発の促進

### 地域及び国際問題における協力

#### 【成果】

- ・ラオスのASEAN議長国支援(2016年)
- ・国際選挙での協力
- ・北朝鮮問題での連携

#### 【今後の協力方針】

- ・FOIPとAOIPが本質的な原則を共有していることを確認
- ・国連改革にかかる協力強化
- ・北朝鮮、南シナ海等の地域情勢における協力の継続





令和4年1月11日

## 日・ラオス外相電話会談

1月11日、午後5時00分から30分間、林芳正外務大臣は、サルムサイ・コンマシット・ラオス人民民主共国外務大臣（H.E. Mr. Saluemxay KOMMASITH, Minister of Foreign Affairs of the Lao People's Democratic Republic）と電話会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

- 1 冒頭、林外務大臣から、両国間の「戦略的パートナーシップ」を更に強化すべくサルムサイ外務大臣と協力していきたい旨述べました。サルムサイ大臣からは、林大臣の就任に対し祝意が述べられました。
- 2 両外相は、昨年4月に発出した「日・ラオス戦略的パートナーシップの前進に向けた行動計画」の実施を通じて、両国関係の拡大・深化を図っていくことを確認しました。林大臣から、同計画実施の観点から、（1）ラオスの財政安定化に向けた取組、（2）新型コロナ対策、（3）空港機能改善に向けた機材供与を始めとする連結性強化、（4）主要産業である電力セクターの自律的な管理に向けた支援を今後も継続することを伝達しました。サルムサイ大臣からは、これまでの日本政府及び国民による支援に謝意が表され、両大臣はこうした協力の実施に向けて、協力していくことで一致しました。
- 3 両外相は、ミャンマー情勢について意見交換を行い、緊密に連携していくことで一致しました。また、林大臣から、東シナ海・南シナ海における力による一方的な現状変更の試みへの強い反対を表明しました。さらに、両外相は、1月5日の弾道ミサイル及び11日のミサイル発射を含む北朝鮮情勢についても意見交換し、拉致問題を含む北朝鮮への対応において、引き続き連携していくことを確認しました。



**フォンサムット・アンラワン**  
**(Ms. Phongsamouth ANLAVAN)**  
**駐日ラオス人民民主共和国大使**



- 1 生年月日： 1970 年 9 月 25 日（ラオス北部フアパン県生）
- 2 学 歴： 1994 年 ブダペスト外国貿易大学経営学学士号取得  
2008 年 政策研究大学院大学公共政策学修士号取得
- 3 経 歴：  
1993～1997 年 商業観光省輸出促進局輸出促進課担当官  
1998～1999 年 商業観光省輸出促進局情報・広報課長  
1999～2002 年 外務省経済局経済研究課長代行  
2002～2004 年 外務省経済局経済研究課長  
2005～2007 年 外務省経済局地域協力課長アジア欧州会合（ASEM）・アジア協力対話（ACD）ラオス連絡担当官  
2008～2010 年 外務省経済局経済協力課長  
2010～2013 年 外務省経済局次長  
2013～2015 年 在マレーシア・ラオス大使館参事官  
2016～2020 年 外務省アジア太平洋アフリカ局長  
2020～2021 年 外務省監査局長  
2021 年 3 月～現在 駐日大使（信任状捧呈：2021 年 7 月 14 日）
- 4 家族構成： 既婚、三子
- 5 使用言語： ラオス語（母国語）、英語（流暢）、ハンガリー語（中級）
- 6 趣 味： ガーデニング、ヨガ、エアロビクス、バドミントン
- 7 訪 日 歴： 2017 年 6 月 トンルン首相の「日経アジアの未来」出席へ同行  
2017 年 12 月 戦略的実務者招へいにて訪日（東京・沖縄）  
2018 年 6 月 トンルン首相の「日経アジアの未来」出席へ同行  
2019 年 6 月 トンルン首相の「日経アジアの未来」出席へ同行



第9期国民議会ラオス日本友好議員連盟 名簿

会長：トゥンマリー・ヴォンパチャン国民議会文化社会委員長

副会長：アンパイ・チットマーノン国民議会法務副委員長

1. トゥンマリー・ヴォンパチャン国民議会文化社会委員長、ボケオ県選挙区【女性】
2. アンパイ・チットマーノン国民議会法務副委員長、チャンパサック県選挙区
3. アンパイヴォーン・ロームブンペン国民議会議員、ファパン県選挙区【女性】
4. ポーンサーン・ヴィライメン国民議会議員、サワンナケート県選挙区
5. チャンタラー・ウドムスック国民議会議員（中佐）、首都ビエンチャン選挙区
6. エーンポーン・ペーンスワン国民議会議員、首都ビエンチャン選挙区
7. シナワー・スパヌヴォン国民議会議員、ルアンパバーン県選挙区
8. ブンター・オーンナヴォン国民議会議員、サイニャブリ県選挙区
9. ソッティダー・ティップムンラティ国民議会議員、シェンクワン県選挙区【女性】
10. スラポーン・インタヴォン国民議会議員、サワンナケート県選挙区
11. サイサモーン・インティセーン国民議会議員、サラワン県選挙区
12. チャンソダー・ポーンティップ国民議会議員、チャンパサック県選挙区【女性】
13. カムパシット・テープヴォンサー国民議会議員、セコン県選挙区



トゥンマリー・ヴォンパチャン・ラオス日本友好議員連盟会長

(Hon. Ms. Thoummaly VONGPHACHANH,  
President of the Lao-Japan Parliamentary Friendship Association)



1. 生年月日：1965年12月24日（56才）（シェンクワン県出身）

2. 学歴：

1984～88年 ホーチミン国家政治行政学院（ベトナム・ハノイ）  
1997年 ラオス人民革命党中央事務局にて行政・マネジメント研修  
2002～03年 タイ及びカンボジアにて心理カウンセリング研修  
2010～11年 ラオス国立大学にて法学修士号取得

3. 職歴：

1989～95年 人民革命党機関誌「アルンマイ」記者  
1996～2019年 ラオス女性連盟副総裁  
2004～19年 女性の発展・保護法案、女性・児童への暴力防止・撲滅法案、  
及び反人身取引法案の起草委員会に参加  
国家反人身取引委員会副委員長  
2019～21年 党中央事務局官房次長  
2021年～現在 第9期国民議会議員（ボケオ県選挙区）、文化社会委員長  
ラオス日本友好議員連盟会長

4. 訪日歴： 2回（詳細確認中）

5. 家族構成： 既婚

6. 横顔：

ラオス女性連盟において長年に亘って女性・児童の権利保護・促進や反人身取引を手がけてきており、諸外国や国際機関（UNICEF、UNIFEM、ADB、アジア基金等）との豊富な協力実績を有する国際派。

ベトナム語及びタイ語に堪能であり、英語での意思疎通が可能。



## アンパイ・チットマーノン・ラオス日本友好議員連盟副会長

(Hon. Mr. Amphay CHITMANONH,  
Vice-President of the Lao-Japan Parliamentary Friendship  
Association)



1. 生年月日：1966年3月3日（55才）（首都ビエンチャン出身）

### 2. 学歴：

1986～88年 司法省にて中等ディプロマ取得（法律）  
1989～93年 旧ソ連に留学（法律）  
1994～96年 ラオス国立大学法政治学部（法律）  
2000～03年 名古屋大学法学部にて修士号取得（行政法）

### 3. 職歴：

1985～86年 国民議会（最高人民会議）財務局職員  
1993～94年 国民議会法務局職員  
1997～99年 国民議会社会文化局副課長  
2003～06年 国民議会对外関係局多国間関係課長  
2006～10年 国民議会法務局次長  
2010～16年 国民議会法務局長  
2016～20年 第8期国民議会議員（アタプー県選挙区）、法務副委員長  
2021年～現在 第9期国民議会議員（チャンパサック県選挙区）、法務副委員長  
ラオス日本友好議員連盟副会長

### 4. 訪日歴：

無償資金協力・人材育成奨学計画（JDS）により名古屋大学に留学（家族同伴）

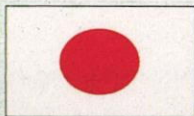
5. 家族構成： 既婚（夫人及び2子）

### 6. 横顔：

元日本留学生として初めて国民議会の副委員長に昇任。実直な勉強家であり、熱心な仕事ぶりと朗らかな人柄は上司・部下を問わず多くの人々に慕われている。今期国民議会では日系企業専用のパクセー経済特区を有するチャンパサック県から選出され、日ラオス間の貿易・投資の促進に強い意欲を有している。

英語が堪能、日本語は日常会話が可能。





# 日ラオス戦略的パートナーシップの象徴(桜とゾウ)



令和4年1月  
南東アジア第一課

2015年3月5日、日ラオス外交関係樹立60周年を迎え、翌6日の日ラオス首脳会談において、日ラオス関係を「包括的パートナーシップ」から「**戦略的パートナーシップ**」へと格上げすることを決定した。また、日ラオス60周年を記念して、**日本を象徴する桜とラオスを象徴するゾウに係る事業**を記念事業の一環として実施した。この桜とゾウは、日ラオス関係のロゴマークにも描かれている。



## 桜

- 2015年2月、**歴史的に重要な北部フアパン県にて桜の植樹式を実施**。式典には、日本から、河村建夫・日ラオス友好議連会長(当時)、駐ラオス大使、八代英太元郵政大臣(ADDP顧問)ほか、ラオスからはパンカム副首相兼教育大臣(現首相)、フアパン県知事ほか多数が出席。
- その後、毎年、数本の桜が開花していたが、**日ラオス65周年を迎えた2020年に約40本の桜がきれいに開花**した。東南アジアで桜の生育はその気候条件から難しいと言われており、貴重な成功例。
- 日ラオスさくら公園は、人気の観光地**となっており、桜が咲く12月～1月頃には多くのラオス人が訪れている。



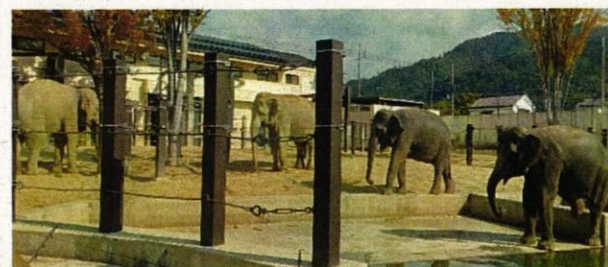
日ラオスさくら公園の引渡式



現在咲いている桜

## ゾウ

- ラオス側から京都市動物園のゾウ4頭を寄贈。2015年2月に京都市にてお披露目式典を開催。同年11月には、京都市と首都ビエンチャンでパートナーシップ協定を締結。
- ゾウが来る前の京都市動物園の年間来場者数は約60万人であったが、ゾウの到着後、**年間来場者数は2倍の約120万人に増加**。
- 京都市動物園、京都大学及びラオス国立大学の3者で学術交流及び研究協力が行われており、現在は、「ゾウの繁殖プロジェクト」の下で、ラオスから来たゾウの2世誕生に向けた取組が行われている。



ラオスから来た4頭のゾウ(上)



ゾウの繁殖プロジェクトの説明(左)  
於:京都市動物園